

南芦屋浜地区教育施設用地 第1回意見交換会議事録

日 時	平成28年2月8日 19:30~21:00
場 所	芦屋市潮芦屋交流センター 2階 多目的室
司 会	山城都市建設部参事, 岸田管理部長, 中村社会教育部長 宮内技監, 山口総務部長, 三井こども・健康部長 辻都市建設部長, 北野学校教育部長
事務局人数	13人(その他(株)緑景3人)
参加人数	住民63人

1 会議次第

- (1) 開会
- (2) 説明
- (3) 質疑応答
- (4) 閉会

2 議事録

- 司会： どなたかご意見ある方は、挙手の上、発言お願いいたします。
- 市民： この計画の施設内容は、選定された事業者が決めることですか。
- 司会： 皆さんの意見を聞き、市の考えも合わせて内容を先に決めないといけないです。また、事業者はノウハウを持っているので、提案もあるでしょう。
- 市民： 意見交換会は今後も続くと思うが、副市長や市長の出席はないですか。
- 司会： 本日は部長級の職員がおり、業務については十分司っていますので、回答は十分にできていると思っています。市長、副市長が出席すると固い場にならないでしょうか。
- 市民： 決断はリーダーが行うので、リーダーに声が届かないと始まらないです。確実に意見が届くのであれば、しっかり発言していきたいです。
- 司会： しっかり届けます。よろしくお願いします。
- 市民： 今までの経緯、南芦屋浜のコンダクトがあやふやになったために、近隣住民、家族内の関係がぎくしゃくしたものになっています。小学校建設が廃止になったことは、やむを得ないことだと承知してはいるが、用地についてざっくばらんに話し合おうということは、おかしくないでしょうか。
- 司会： 地域交流についてですが、現在集会所の使い勝手の悪さはお聞きになりますか。
- 市民： 使い勝手の悪さについての意見は、このような類似の場などで聞いています。

市民： 私が危惧するのは、夢を持たせておいて結局は同じことになると考えている人は多いと思っていることを踏まえて意見を聞いていただきたい。

市民： 現況と大して変わらないスポーツ施設や現状の延長線上の交流施設が整備されるという印象しか持てないです。その理由として、人口が減りハコモノを無くす動きがある一方で、保育の待機児童、介護の待機老人が増えています。そこで、ガラガラの空きがある小学校を活用したり、学童に小学校を使わせてあげるといった動きが始まっています。実際のところ、ハコモノの問題は解決されていて、場所の転用、利用価値を上げることに力が注がれています。それなのに、小学校を必要としているところに別の建物をつくろうとし、そのチャンスを逃しています。芦屋市は、時代の流れと逆でもったいなさを感じています。流れと軸が合えば、人は流れてきます。今と変わらないどこかの息がかかった民間委託のスポーツ施設や行政機関と確約の取れていない人が集うだけの場所が建っても、本当の意味でこのまちの暮らしが守られていくといくという気がしません。あれだけさんざん小学校を建てると宣言しておきながら中止となったのは、結果として、新聞でも明らかとなっていた対抗馬を抑えるために選挙パフォーマンスに利用したうえで白紙撤回したなど、この代償は大きいです。今後は潮芦屋の市民に対して、まちの意見をきっちり拾って実現してもらおう事を強く要求する権利を持つてもいいものに値すると思っています。

次にあげる要望は、私個人の意見です。

ここにつくられる施設は、廃案の小学校と同等な扱いとして、行政の受け皿となる施設とする努力を求めます。

一つ目は、学童の預り施設や公立の保育士対応の実施を認めること。

二つ目は、介護についてですが、多職種連携で行政の仕事を進められる介護窓口をつくること。

三つ目は、潮見小のコミスクとは別に潮芦屋コミスクの立ち上げを認めること。

これらを要求したいです。

国や市役所、教育機関とつながりを持てる環境を必要としている人がたくさんいます。行政の運営が良いとされる事例では、新しい取り組みを実現するリーダーの力が一番の鍵となって実現されています。

結論として、教育用地として土地を購入するのであれば、行政と連携できていることを明らかに判断できるようなものをつくって欲しいです。

しがらみにとらわれず、もっと世界の動きを見た上で、未来を見据えて芦屋市を豊かな街にしていってください。これは市長に言いたいです。

司会： 一つ目が、学童の預り施設ですね。

- 市民： 学童預り施設は、小学校が無ければできないです。例外を認めてつくってほしい。
- 司会： ということは、子供さんが一時的に寄れる場所があるということですね。
- 市民： 福祉の人がここで働ける場が要るということです。
- 管理部長： 指導員のいる場所ということですね。
- 市民： 児童館とかも指導員がいなければできないですから。児童館とかあれば、明かりもついて、子供にとっても働き世代にとってもいいと思っています。
- 司会： 二つ目が介護の窓口ですね。これは、市役所の相談する職員がいる窓口ということでしょうか。
- 市民： 介護も今は施設が全く少ない。今は、家庭で見えていこうという取り組みになっています。何かあればお医者さん、必要な人が来てくれる。ちゃんとした行政の窓口があって、そういう手続きのもと成り立っていくということだと思います。
- 司会： 市役所の出張所のようなものをつくったらどうかというイメージですか。
- 市民： 理想は介護施設ですが、場所の問題などあればせめて窓口ということで挙げさせてもらいました。
- 司会： 市がお示ししている社会教育機能とはちょっと違う内容ですね。最後おっしゃっていたのはどうでしょう。
- 市民： ガラガラになった小学校を使って、介護施設として運営しているところがあります。
- 管理部長： コミスクもおっしゃってましたでしょう。
- 市民： 小学校単位でないとできないと思います。潮芦屋単独のコミスクがあってもよいと思います。それだけの人数、ニーズもあります。橋向かいで一緒にしてもいいのですけれど、潮芦屋は潮芦屋だけの意見が言えるコミスクです。
- 司会： 仮称潮芦屋コミスクのようなイメージですね。
- 市民： 環境が違くと、意見が多少違ってくるのが当たり前ですから。どちらかの意見が押すということが絶対ありますということです。
- 司会： 次の方どうぞ。
- 市民： 要望が出たら出たで、どこまでOKなのか判断がつかないです。例えばスーパーを提案したら、教育施設ではないから違うとなります。どう考えても、フットサルコートなどを教育施設ということは無理があるかと思います。解釈が重要になるが、どういう解釈なら認めてもらえるのか提案の仕様がないうです。そのあたりを明確にしてほしいです。
- 司会： 昨年 11 月に説明した資料と今の資料と同じですが、教育機能、社会教育機能という分野ははずしません。おっしゃるようにスーパーは厳しいです。土地利用として教育機能は望ましいと考えていますから。線引きですが、今日

ご意見をお聞きして、検討して次回こういう場所で市の考えを披歴したいと思います。そこで、ボーダーラインが見えてくると思います。

市民： 記載されている項目が納得いかないです。テニスコートやフットサルコートは、教育機能ではないですよとしか言いようがないです。では、芦屋市の他のテニスコートは教育施設として登録しているのですかとなります。松浜公園のそばにもありますが、あれも社会教育施設ですか。

管理部長： スポーツ施設として、社会教育の一環として設けられています。

社会教育部長： そこに建設されているのは、体育施設でもありますし、他も社会教育施設です。

市民： スポーツなら社会教育になるという解釈ですか。

社会教育部長： そもそも、社会教育部の中にスポーツ推進課がございまして、スポーツ推進の施策を概ね行っています。

市民： 社会教育と認められるものは、今の時点で決まっているものではないですか。

社会教育部長： 社会教育の分野が広いですので、その中でも健康増進ということで例示が挙がっています。

市民： フットサルとテニスコートがありますが、ミズノさんありきと思っているのですが。意見がそっちに引っ張られると思います。あるものを使った方がいいよねとなります。ここは、一度切ってその上で、意見を求めた方がいいと思います。社会教育機能であれば、具体例を挙げずに提案を募った方がいいと思います。

司会： ミズノありきではないんです。この4月1日から来年3月までは、市とミズノが契約をします。その1年は契約しますが、そのあとは、事業者を公募しますから、ミズノさんが入っているかもしれないしそうでないかもしれません。ですから、ミズノありきではないです。

市民： 直結しているとは言っていませんが、ここに書いてある時点で皆想像します。一般市民的に考えてください、ミズノありきで想像しますよねと言っているのです。

管理部長： 例示として示していますので、とらわれなくても結構です。

市民： とらわれますよねと申し上げています。フットサル、テニスコートが挙げられていることによって引きずられるのは明白です。こういう会に参加していない方が大多数なわけですから、この資料を見ただけでは、ミズノが残るとしかみなさないです。そこは、もう少し考えてほしいです。

司会： どうぞ。

市民： 小学校をつくらないとなれば、小学校をつくっておけば安く済んだのであろうけれど、それ以外のものをつくらなければだいたいお金がかかるでしょうね

という意見です。

また、集会所とありますが、交流センターをつくる前に、この地域につくってくださいと要望を出していた時に、小学校区に一つしかつくれませんという回答を記憶している。本当に集会所ができるのかという質問が二つ目です。

三つ目は、住民はいろいろなものを必要としています。この地域に足りないのは、交流施設が必要だと思います。一番いいのは小学校。人が集まれるし、避難できるし、とにかく公共施設は必要です。それで、認定こども園は確定かのように書いてありますが、小学校は少子化になるのでだめだという意見がありまして、なぜ認定こども園がいいのかわかりませんが、認定こども園はつくっていただきたいと思います。それは、公立で公共の施設としてつくっていただきたい。支持は得られると思います。

その他、浜風に認定こども園の計画がありますが、民間です。私は、幼稚園や保育園がなくなり、認定こども園が増えていくという方向は望みませんが、ここは、公立で認定こども園をつくっていただきたい。民間ばかりに任せるのではなく、公立の水準を示しておく必要があると思います。

司会 : お金をかけることにの前に、事業者を決めていくためには、この計画をゴールデンウィークごろまでに決めないといけないということがあります。その中では、事業手法の検討をします。財政、建設費などを精査する必要があります。お金をかけるにあたって、十分に検討します。

集会所の件は、交流センターの使い勝手についてお聞きしましたし、できることできないことなどあると思いますが、ぜひ、課題を解消していくべきだと考えています。

市民 : こども園を公立でつくってほしいということは、ちゃんと記録しています。私が言っているのは、小学校でしたら恐らく安く建てられたでしょうということです。それを承知でやるのですねと言っているだけで、とくに答えを求めています。小学校は高かったと誤解している人が要るものですから。

市民 : なぜ民間のコンサルが居るのですか。小学校ができるということで、以前は個人的には良い話だと思っていたが、一部の人の欲のせいで、もめる必要の無い状態になった。民間がいることがまた、抑えようとした怒りが上がってきました。緑景さんホームページ見たら、出てこない。なぜそんな連中が大事な話の場にいるのでしょうか。

司会 : 冒頭紹介しましたが、この土地利用を考えるうえで、具体的な検討を進めるために、市が委託して指名競争入札で落札した業者さんです。

市民 : 今までの経緯も知っていますか？

司会 : それは、市から伝えられる情報がありますから、伝えて今日この場に出席を

求めました。大丈夫です。

市民： 分かりました。

司会： つぎどうぞ。

市民： 芦屋市が、ここに施設をつくれれば財産になり活性化にもなるという説明が以前あったが、その根拠を教えてもらえますか？現在案では、地域に密着するもの南芦屋浜にはないから、まちの活性化にならないのではないかと？
司会の方はどちらに住んでいますか。

司会： 西宮です。

市民： 芦屋との違いを感じないですか？地域と密着したものが西宮にはあるじゃないですか。芦屋市は、まち中の空間デザインを重視するあまり、住民生活のアクティビティがおろそかになっています。堺や尼崎に住んでいたのも、そのあたりをすごく感じるのも、そのあたりを考えたほうがいいのではないのでしょうか。

司会： 具体的にございますか。

市民： 具体的にはないのですが。

司会： 賑わいとか活性化が必要ということですよ。

市民： 他市の方が予定地を見て、商業施設がいいのではないかと人も結構いらっしやいます。保育園などコンパクトに。

司会： 今の土地利用計画は、歴史があります。生活利便地区など設定しています。

市民： 宗教施設が生活利便地区にあります。生活利便地区に宗教施設は要りませんか。業務研究施設用地は、マンション立てないでしょ。滅茶苦茶なんです。ホテルつくっても人は入らないでしょう。観光地もないところにつくってどうするんですかということです。

司会： あそこは昔から海ゾーンということで、土地の位置づけがありまして、兵庫県のほうで検討されたものです。やはり、まちの賑わいは、そういうホテルがあつて、醸成されるものだとは私は思っています。教育施設用地もそうですし。スポーツされているにぎやかな声がある。もちろんまわりの方は、違うご意見があると思いますが。

市民： 資料をつくってきているので、見てもらいたいです。

司会： つぎの方どうぞ。

市民： 前回と同様、会の告知が1週間を切った状態で開催されるので、早めに知らせしてほしいです。小さい子供のいる世代なので、託児の問題とか昼の部と夜の部、仕事を終えてくることができる人もいますので、住民が集まりやすいように考えてほしいです。

司会： 夜の部今回2回目ですが、同じことを昼夜行くと難しいと考えています。スケジュールありきではないが、今度は、3月中旬を予定しています。場所時

間今日と同様な開催予定です。

市民： 託児にしても、しっかりと告知してほしい。託児の事を知らなくて来ない人もいるはずです。広報も毎回見れるとも限らないので。

司会： 次回から気をつけます。

市民： 意見交換会は、全部で何回予定していますか？

司会： 言うとスケジュールありきになりませんか。

市民： 1回開催して終わりとはしてほしくないです。

司会： 次回の3月は、今日意見をもらい、コンサルと市と研究して、案を出そうと考えています。それで再度ご意見いただいて、3回目をと考えています。

市民： 昨年は、来年1年間かけて考えていきたいと思っておりますとおっしゃっていたのに、結局はゴールデンウィーク前までにとということですね。回数はそんなに多くないですね。

司会： 10回とかは考えていません。意見交換会の状態を見て決めたいと考えています。

市民： さて、本題ですが、先ほど歴史を考えるととおっしゃっていましたが、そもそも教育用地なのに、サッカーやテニスを教育とおっしゃること自体がゆがんだ解釈だと思います。今スポーツ施設だから、スポーツ施設でいこう、これを教育施設と呼ぼうというような持っていき方を感じます。

生活利便施設に宗教施設が建っていたりとか、大学の運動場が来たりとか生活利便ではないですよ。フリーゾーンも最下位の要望のホテルが採用されたりして、平成21年25年のアンケートを見ると、私が公園を欲しいわけではないですが、公園の意見が多かったです。

歴史を見てくださいというのはおかしいと思います。

市に考えていただきたいのは、まちの活性化を考えていただきたい。水は流れが止まると腐ります。人の流れが止まるとまちが腐ります。次の世代が住み続けるまち、子供が住み、子供が出ていっても戻ってくるまちというような循環するまちは、市にとっても住民にもいい。

そうすると、今の計画は疑問です。今からこのまちで住宅の購入を考えている人から幼稚園の遠さを問題視されたりします。スポーツ施設がうまくいっているから継続するというけれども、現在市外からの客がいます。市民のためと考えておっしゃっているのですが、芦屋市民が100%スポーツ好きでもないし、テニスコートも多いですからさらに必要か疑問です。

やはり、生活利便で銀行のATMがないとか、郵便局がないとか、バスの本数不足などの意見が多いです。

ここに小学校をつくらないなら、私は商業施設がいいと思います。マルハチ以外で、もう少し買い物ができる施設で、商業施設があればATM・郵便局

の ATM が設置されるでしょう。商業施設があれば、バスの便数が増えるまでいかずとも、コミュニティバスが出るだけでもバスの増便に相当するでしょう。

こどもの買い物でもららぼーとまで行かないとないですし。

また、最近の商業施設は買い物だけでなく、森之宮のキューズモールに商業施設の上にランニングコースがあったり、フットサルコートがあったりします。そういうものをつくるほうが、大多数の人に支持される施設になると思います。今の計画ですと、スポーツをする人の為だけのものになります。

また、潮芦屋のアンケートで図書室もあったと思います。市の財政的に図書室が難しいならば、大阪府立大学がやっているマイライブラリーが喫茶店とともに商業施設にあります。

あと、マルハチだから私はバイトをしますという方がいます。地域にそういう施設があれば、そこで雇用も生まれます。

あと、先ほど出たこどもの集い場のようなものをつくってほしいです。仕事の帰りに潮見から連れて帰るのはちょっと遠いし。自分の地域に帰ってもらって、そこで過ごして迎えに行くというように、自分の地域に子供はいてほしいと思います。6時ごろ子供が一人で帰ってくることも怖いですし。

児童館まで行かなくとも、集いのスペースがあればいいと思います。

あと、キューズモールで、箕面にもありますが、市民活動センターが民間の商業施設にあります。市のサービスセンターも兼ねていて、さらに地域の子育てやイベント情報が掲示されていて、市民が活動するスペースがあります。商業施設といえども買い物だけでないものを取り入れてほしいです。

十分なスペースはあると思います。

あと、犬を連れながら買い物ができるところもあります。もちろん犬が入ったらダメな店もありますが、カゴにいれたらよいという店もあります。ドッグランは、要らないと思いますが、小さなドッグランでいいと思うし、何しろ活性化を考えてほしいです。

司会： まちの活性化を色々ご意見いただきました。

基本的には、商業施設を誘致したら問題が一気に解決するのではないですかということですね。

市民： 病院も遠いので、商業施設にクリニックモールもありますし。

予定地の北がこども園ならば、クリニックモールを商業施設の間に挟んで商業地があるという配置であるべきでしょう。

市民： マルハチの横に商業施設をという意見があったと思いますが、この意見もいれておいてもらえますか。先ほど歴史がというお話がありましたが、あっさりひっくり返されるということを学びました。

商業施設がだめという理由はなんですか。

司会：冒頭説明しました土地利用計画の中に、教育機能と社会教育機能とがあります。

市民：ですから、教育施設と言いつつもスポーツ施設を歪んだ解釈でおっしゃっている感じがありますね。用途を無視した施設が実際にいっぱい建っていますし。本質的にまちの活性化を考えたほうが市の為にもなっているのではないのでしょうか。枠内で考えようとするのではなく、既成概念をとっばらって考えてほしいです。小学校はやはりあったほうが良いと思いますし、マルハチの中に開いた土地がありますので、そこを企業庁と相談していただいて小学校にしてほしいです。アンケートで浜風小学校と潮見小学校を選択できる陽光町の方にとって、距離的にはどちらでも良いと思います。いいエネルギーが真ん中に集まるほうが島としてもいいと思います。ですから、この空き地の用途は交渉していただきたい。

市民：学校を選べるのはうちのマンションだけです。

司会：今おっしゃっている土地は、交流センターの北ですね。

市民：小学校の話は、そうです。クリニックモールなどの意見は今回の計画地についてです。

司会：交流センターの北の土地の用途は住宅地です。

市民：私が言っているのは、用途を無視してほしいということです。

司会：それはいろいろなご意見があるのでしょうか。

市民：交渉次第ではずせるのではないですか。

司会：それは無理ですね。住宅という位置づけは。

市民：今日の会の告知を広報誌でしていただきましたが、期間が短かったですし、来たかった人もたくさん来られなかったし、土曜の昼にするとか工夫はできないでしょうか。開催していただいたことは、私の地域は自治体が無いので意見を言える場としてはありがたいとは思っています。

私は潮見小中に3人の子供を通わせてますが、ここに小学校は必要ないと思ってきてます。他市で小学校の教師をしています。単学級の子供、教師の弊害を見てきていますので、芦屋市は子供を守ることだと思っています。小学校については、思いを持っている方がたくさんいらっしゃるが、子供たちを守りたいというお母さんもたくさんいらっしゃることもわかっています。お金が高いから反対してきたということではないことは、理解していただきたいです。

認定こども園については、いいと思います。行政がかかわる施設にすることも賛成です。

コミスクの話もでしたが、小学校のコミスクに参加していますが、古いま

ちと新しいまちの子たちが混ざり合って、新しいグループができることはいいということを見てきたので、コミスクを分ける必要はないと思いました。新しい教育施設用地についてですが、来れなかった方たちの意見を聞いてきましたので言います。

一つは、子ども園についてはつくっていただけるということでありがたいということ、健康増進については体育館があればという意見が多いです。備蓄倉庫をつくって避難所にもなるような体育館です。市民と地域の方たちにもよいと思っています。

あとは、アイデアですが、体育館の上に研修室をつくってほしいです。他に、海の見える喫茶コーナーがあれば、魅力的なまちになるのではないかと思います。

他、この校区でボール遊びができないし、公園でもボール遊びをすると怒られるので、グラウンドを開放していただいたら家にこもるのでなくサッカーなどで遊んでもらえると思います。

多目的施設ですが、3世代が交流できるような児童館がいいと思っています。市が介入し予算の問題もあると思いますが、兵庫県が来年度からやろうとしている地域子供育成事業があって、シニア世代が子育てをするものですが、そういうものも参考にしながら、シニア世代を呼び込む、活躍の場となり生活が豊かになるような児童館がいいと思います。

学童保育の子供たちが遅くぼつぼつと帰ってくるような子供もいますので。あと図書室、図書館の分館をつくっていただきたいです。アイデアとしては、海の見える図書室ということと、シアタールームがあって楽しめるような場所があってという感じです。

他に自習室ですが、中高大学生が宿の自習室に通っています。神戸にはたくさんありますが、図書館にも閲覧室はあるけれども自習室は無いので、そういうものがあれば、あらゆる世代の住民、市民、地域住民たちを呼び込めることができると思います。

小学校に賛成反対ではなく、地域が良くなることを考えていきたいと強く思います。

司会： 今おっしゃっている体育館のイメージは、川西の大きな体育館をということですか。

市民： できればそうですが、そうでないと避難所の機能も果たせないのでは。集会所は避難所とはならないので。

司会： 次の方どうぞ。

市民： 市政だよりを拝見しまして来たのですが、場違いなところに来てしまったという思いがありますが、ご意見お聞きして思ったのですが、この意見交換会

は地域だけの方限定なのでしょうか。

司会： そうではありません。

市民： 芦屋市全体ならば、違う場所でもされますか。

司会： やり方は、この場所だと予定しています。

市民： この跡地がどういうふうになっていくのかということにすごく興味がありまして、これだけの更地が活用されるのはチャンスだと思います。

自分自身が大阪の国際交流センターで勤務していました。あそこも相当な規模で国際交流させていただいたのですが、結局市が主導権を握っていましたから、現在は民間に売り渡していますが、今後市だけでされるのではないほうがいいと思います。いろいろな方、すごいセンスのいい建築家の方もこの会場に来ていらっしゃると思うのです。

舞子に橋のミュージアムがありまして、ガラス張りで海が見えて喫茶店があります。この立地は、まさにここだと思い参加しました。

その他ライブラリーという意見がありましたが、洋書がおけるライブラリーで外国人が集える場、国際文化都市としてハコではなく情報を提示していただいたらいいと思います。

今ワンワールドウィークというものがあり、HAT 神戸へ電車を乗り継いでいかないといけません。でも潮芦屋交流センターで国際交流が行われているということが浸透していないので、これからグローバルな子供たちを5年10年を見据えて芦屋でというような場にさせていただけたらと思います。

国際交流は、市の担当者は3年で変わるとお思いますので、ビジョンを持っている企業さんなどがいいと思います。芦屋にも、企業さん以外にも文化芸術なども含め、そういう方はいらっしゃると思います。やはり更地というのは魅力です。

なぜ、エキシブがこの地にホテルを建てるかということは、やはり魅力がここにあるからでしょう。そこを行政側も考えられたらいいのではないのでしょうか。利益の度合いは分かりませんが、企業さんですからメリットがあるから建てるのでしょう。海が見えるというのは素晴らしいです。

司会： ライブラリーとおっしゃっていたのは、どのような感じでしょうか。

市民： 洋書を置いていただいたら、外国の方の子供たちとの交流も生まれますし、六甲アイランドではそういう例も多いです。

司会： 次の方どうぞ。

市民： 今日のお話で平成30年に供用開始ということで、企業に貸すからゴールデンウィークまでに内容を決めないといけないということですが、たくさんいい意見が聞けて良かったです。民間の力も借りましょうということもありましたし。

やっつけ仕事でやらないといけないでしょうか。皆でいいものを決めてからでは無理でしょうか。それまでは、ミズノさんなりに貸して、決まった時点で撤退してくださいということではできないでしょうか。

司会： やっつけで終えないために、意見交換会を開催しております。

市民： 意見交換会は3回ではまとまらないと思いますが。平成30年が決まりなのか既成の事実なのか知りたいです。

司会： 今年4月から来年3月までの1年間はミズノさんと契約します。

市民： 業者さんがうまくいかなくなったら、マルハチの横のように寝かしておくかもしれないということですか。われわれの意見がまとまるまでは、寝かしておいてもいいのではないのでしょうか。

司会： 時を開けることなく移行していく予定です。

市民： なぜ今決めないといけないのかということですが、企業庁との契約で供用時期が決まっているのですか。

市民： ミズノさんが1年ということですが、ロスタイムがあってもいいのではないのですかという質問です。

司会： ロスタイムは無いようにしないとイケませんね。

市民： ロスタイムがあってもいいのではないかという意見です。

市民： ロスタイムとは、何のロスですか。

司会： 来年の3月31日でミズノさんとは契約解除して、時を2~3年開けてやったらというご意見ですよ。

市民： 何と何のロスですか。

司会： ロスタイムという言葉があったので、一概にロスということではありません。

市民： 誰に何を配慮されているのですか。ミズノさんとの契約は来年3月に終わるんですね。今日の意見などが実現すればフットサルなどはなくなり、ロスしますよね。

司会： ただ、土地利用計画としてお示ししているのは、この資料の範囲、機能です。教育機能、社会教育機能です。

市民： 教育機能、社会教育機能から用途が転じることはないのですか。

司会： この範囲が基本になります。

市民： 県からの土地購入に関して、平成30年からの土地利用の用途と本来の用途と齟齬があった場合の違約金のようなことはありますか。

司会： 時期の遅れによることに関してはないですが、取得目的とは異なる場合は考えていません。

市民： 整備後に改めて、例えば1年後に別の（本来の用途と異なる）建物をつくりますということはあるのでしょうか。

- 管理部長： その事務には携わっていなかったのですが、用途を決めて県からの土地買収価格の減免を受けたという経緯がありますので、そのようなことは信義上ありえないです。
- 市民： 信義上の問題で、契約上は問題ないのですか。
- 管理部長： 契約書まで把握していませんので、申し上げられませんが。
- 司会： 次の方どうぞ。
- 市民： 必要なのは、教育機能、社会教育機能、子育て支援、地域交流などがマストで、この範囲であればなんでも構わないですよ。また、計画のために時間をとることも問題ないですよ。平成30年でなくても構わないですよ。しっかり意見を出し合ってしっかりやればいいのではないかとただなのですが。やっつけ仕事にならないように。
- 司会： やはり、はやく有効に利用したいと。市は、意見交換会を行って、コンサルさんもいて、十分検討もして決めていこうということですから、平成30年4月をずらそうとは思っていません。
- 市民： 議論が不十分で、皆の思いが伝わらない場合でもタイムリミットがきて、終えてしまうということですか。
- 司会： ですから、はじめ申し上げたように、スケジュールありきではないです。概ねのスケジュールです。
- 市民： それなら、動かす余地があると言えばいいではないですか。動かせないというからおかしくなる。
- 市民： こちらの意見がまとまらないから、ミズノさんもう一年やってよということはどうですか。
- 市民： それはミズノさんに迷惑がかかるから。
- 市民： それを今、市に聞いてるんですよ。
- 司会： 市の考えは、活用方針は早く決めたいです。スケジュールもお示ししないと、議論もできないということですから、私は初めにスケジュールをご説明した次第です。スピード感を持ってということですよ。
- 管理部長： 皆さんのご意見をお聞きして、実りのある議論を次からするには、もう少し具体的なことを示す必要がありますよね。次回3月に皆さんに見えるようなかちつとした平面図かどうかは別ですが、何かもう少し具体的なものを示す必要があります。今日の商業施設、介護施設などご意見がありましたが、次回に同じように聞くだけですとまとまっていけないです。なので、次回のために、一定の機能、施設の目的に関するご意見をある程度持ち帰りたいのです。今日のご意見では、まず、子供の集える場所、そこで多世代が交流できる機能、認定こども園の議論も多かったです。付加価値として、海が見えるような図書室、喫茶店で大人もつどえるようなスペース、津波などの一時避

難というような施設で、次回具体案を示すということではいかがでしょうか。

市民： 意見があります。

認定こども園は、どのような子供を育てたいのですかということが一つ。私にはわからないのですが。

それと介護ですが、多目的であるということは賛成ですが、認知症の予防施設として体育館は必要でしょう。高齢者が転ばないように、体を鍛える場所が必要だと思います。そういうこともふまえた上でのテニスコートなどは賛成です。

市民： 少年サッカーなどは、限られた人のものですから、全部ひっくるめてできるような施設、転んでも安全な柔らかめのコートにするなどのほうがいいのではないのでしょうか。

市民： 今までの論点以外での要望ですが、まず一つは交番です。二つ目は、消防署ですが、消防署が難しいならば消防団（防災拠点）がいます。あとは、小学校を母体として行われている行政サービス、コミスクや学童がると思いますが、ここには小学校はないけれどもその他の提供サービスを知りたいです。

4 点目で、集会所は二つ要らないと思います。国際交流は、現在の交流センターに集約して、（涼風町で）地域の交流の公民館とするのはいかがでしょうか。ここ（現在の潮芦屋交流センターの場所）のほうが住民にとって利便性が高いですから、地域の集会所にしてほしいと思います。

平成 30 年供用開始ですが、私もスケジュールにとらわれなくてもいいと思っています。ゴールデンウィークまでに市民の賛同の得られるプランができなければ、無理に突き進むことは避けていただきたい。

司会： 先ほどの交番というのはどのようなことでしょうか。現在のあの派出所を止めて、こちらに移転するというのでしょうか。

市民： 派出所と交番を混同していますが、派出所を新たに欲しいということです。

社会教育部長： 学童とコミスクの件ですが、学校を基本としていることをご理解いただきたいです。

市民： 小学校をつくらないのだから、せめて特例ということで、集会所、コミスクぐらいは認めてくださいということです。

市民： 5 月のゴールデンウィークということですが、昨年から 3 カ月たった状態でこのレベル。今日この場で、コンセプトはこうとか示してもいいでしょう。民間からすると何をとろいことをやっているんだとなります。有識者はたくさんいるから、熱意のあるプロジェクトリーダーをたててやってほしい。この先何をするのだということを見せ、我々を安心させてほしい。

司会 : これで、予定時刻になりましたので、これで終わりたいと思います。ご意見
ご要望を頂戴いたしましたので、調整いたしまして、こういう場を設定したい
と思います。